

高く険しいこの岩壁に、木々がまるで髪^{かみ}の毛のように絡^{から}

まった場所があり、アイヌの間ではここを「カムイロキ」

神のいる場所と呼んでいます。昔からこの洞穴には中に入

ると生きて帰ってくることはできないと伝えられており、

この岩にイナウを立ててお祈りをしてから通るのが習わし

です。言い伝えによれば、その昔、一人のアイヌが岩壁の

上から縄^{なわ}を降ろし、それを伝つてこの洞穴に入ったところ、

戻^{もど}つてはこなかったそうです。それで、その息子^{むすこ}も同じよ

うに入つてみたけれども、やはり戻つてはこなかったそう

です。それ以来、この洞穴に入ることは厳しく禁^{きん}じられて

いるとのことでした。



カムイロキの図。画家の福田半香が描いたもの。



カムイロキ

「^{すわ}神が座る場所」という意味。